

1. 科目名 (単位数)	教育相談 (カウンセリングを含む) (中等) (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3440 SNMP3440 SCMP3440 SBMP3440 EDTS3106 EDTS3306
2. 授業担当教員	野口 理英子		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	教育相談とは、幼稚園・小学校や中学校・高等学校など教育現場において、幼児・児童・生徒のこころの問題を扱うだけでなく、幼児・児童・生徒をとりまく保護者やさまざまな環境なども考慮しながら進められていく、教育現場における心理的な支援活動である。本講義ではカウンセリングを実践できるように演習を取り入れ、幼児・児童・生徒理解のために必要な知識・方法および実際の介入方法などについて、知識を深め実践力を身に付けることを目的とする。		
8. 学習目標	1.教育相談の意義と目的、内容と領域について理解し、説明することができるようになる。 2.学校における教育相談の基本的視点、展開の方法について理解し、説明することができるようになる。 3.教育相談を効果的に展開するため、枠組みとなる代表的なカウンセリングの理論と技術について理解し、説明することができるようになる。 4.教育相談の治療的、予防的、開発的側面について理解し、説明することができるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. テーマごとに課題シートを作成する (8回程度を予定)。 2. 小論文・レポートを作成する (1200字程度)		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 指定しない。授業内で資料を配布する。 【参考書】 石井正一郎編著『エッセンス 学校教育相談心理学』北大路書房、2013。 鈴木康明編著『生徒指導・進路指導・教育相談テキスト』北大路書房、2005。 文部科学省『生徒指導提要』教育図書、2010。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1.教育相談に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2.カウンセリングに関する理論や技術を理解し、対処できるようになっているか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の学習状況、レポート等を総合して評価する。 1 積極的参加 (発言、討議、態度、シートの取り組み等) 総合点の50% 2 レポート (小論文、中間レポートを含む) 総合点の50% 上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。		
12. 受講生への メッセージ	以下のことを心がけて下さい。 1. 授業には積極的な態度で参加して下さい (意見を述べる、質問する、等)。 2. 事前・事後学習を通して、理解を深めて下さい。 3. 他の受講生に迷惑をかけないで下さい (発表時に欠席する、私語、等)。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	教育相談とは何か 日本における教育相談の歴史を踏まえながら、カウンセリングや生徒指導との異同について理解する。	事前学習	シラバスを読み、授業に備える。
		事後学習	配布資料を基に、教育相談の意義と役割についてノートに整理する。
第2回	教育相談の実際 教師の行う相談活動について、学校現場の様子を理解しながら、教師だからこそできる相談について考究する。	事前学習	教師の行う相談活動にはどのようなものがあるか、ノートにまとめる。
		事後学習	カウンセラーではなく、教師だからこそできる相談の長所・短所をノートに整理する。
第3回	現代の子ども理解 現代の子どもの育ちやすさ・育ちにくさについて考究する。	事前学習	現代の子どもは育ちやすくなったか、育ちにくくなったかについて考え、ノートにまとめる。
		事後学習	資料を基にして、現代の子どもについて考察し、ノートにまとめるとともに学校教育では何をすべきかについて考究する。
第4回	教育相談における受容・共感・自己一致 教育相談における受容と共感がなぜ大切なのか、叱ることの意味について考究する。	事前学習	受容・共感・自己一致とは何か調べ、ノートにまとめる。
		事後学習	学校カウンセリングのベースとなるロジャーズの考え方を理解する。
第5回	人にかかわるということ 子どもの話を一生懸命に聞いていることをどうやって子どもに伝えるのかについて考え、実践できるようにする。	事前学習	一生懸命に話を聞いているということを相手にどう伝えるのかについて考え、ノートにメモ書きしておく。
		事後学習	面接の基本姿勢について、日常生活で練習して、改善点や感想をノートに書き出す。
第6回	面接の基本	事前学習	自分にとって、安心して話ができる場面とはどのよ

	面接における基本的な技法を習得することを指すが、日常の会話や授業でも使えるようにする。		うな場面か考え、ノートにまとめてくる。
		事後学習	面接の基本的技法を日常生活で使用して、改善点や感想を書き出す。
第7回	面接のまとめ（演習） 基本的な応答を使ったロールプレイを行い、面接の基本を習得する。	事前学習	面接のロールプレイができるように準備してくる。
		事後学習	日常生活で学んだことを試してみ、自分の応答のクセや改善点について考える。
第8回	行動カウンセリング 学習理論に基づく人間の行動の理解と行動変容の考え方を理解する。	事前学習	学習理論について調べ、ノートにまとめてくる。
		事後学習	日常生活の中にある学習した困ったことについてどのようなものがあるか考え、ノートに書き出す。
第9回	認知行動カウンセリング 行動カウンセリングと認知行動カウンセリングの理論と進め方について理解する。	事前学習	認知行動カウンセリングについて調べ、ノートにまとめてくる。
		事後学習	日常生活を不自由にしているイラショナル・ビリーフについてどのようなものがあるか考え、ノートに書き出す。
第10回	ブリーフセラピーと精神分析 学校で活用できるブリーフセラピーや精神分析の考え方や技法について理解する。	事前学習	ブリーフセラピーと精神分析について調べ、ノートにまとめてくる。
		事後学習	日常生活で体験する防衛機制についてノートに書き出す。
第11回	教育アセスメントと心理テスト 子どもの援助のためにはアセスメントは重要である。アセスメントの一部である心理テストについても理解する。	事前学習	アセスメントとは何かについて調べ、ノートにまとめてくる。
		事後学習	さまざまなテストの特徴についてノートにまとめる。
第12回	勉強についていけない児童・生徒、友だちとうまくやれない児童・生徒の理解 発達障害について理解を深める。※親及び教師への支援含む（チーム学校のあり方）	事前学習	発達障害について調べ、ノートにまとめてくる。
		事後学習	資料を基に、個別支援についてまとめる。
第13回	学校へ行かない児童・生徒の理解 不登校への対応について考える。※親及び教師への支援含む（チーム学校のあり方）	事前学習	不登校について調べ、ノートにまとめてくる。
		事後学習	資料を基に、不登校への対応についてまとめる。
第14回	非行問題と学級崩壊の理解 非行問題に関して、学校としてどのようなことができるかについて考える。さらに学級崩壊の背景を知ることで子ども理解を深める。※親及び教師への支援含む（チーム学校のあり方）	事前学習	非行について調べ、ノートにまとめてくる。
		事後学習	新聞等で少年犯罪についてのトピックスを拾い出し、考究し、ノートにまとめる。
第15回	いじめ 学級崩壊の背景やいじめのメカニズムを理解することで現代の子どもの理解を深めるとともにその対応について考究する。	事前学習	いじめの現状について調べ、ノートにまとめてくる。
		事後学習	いじめへの対応について考え、ノートにまとめる。